

村上市の概要

村上市のあらまし

新潟県の北端に位置し、北から東にかけては山形県に接している村上市。南は関川村および胎内市と接し、70キロメートル圏内には新発田市、新潟市および山形県鶴岡市があります。

面積は約1,174.24平方キロメートルで、新潟県の総面積のおよそ9.3%を占めており、海岸線は、約50キロメートルにも及んでいます。

地質的には、沖積平坦地と山間部洪積地で構成されています。平地は、飯豊朝日山系に源を発する荒川・三面川流域をはじめ、石川流域や大川流域に広がっています。集落は河川流域に集中しているほか、朝日山塊が直接日本海に迫る三面川河口以北の海岸線に分布しています。特に荒川、三面川および石川河川流域は、肥沃な水田として農業生産活動の基盤となっています。

今からおよそ2万8千年前の後期旧石器時代の石器が発見されており、6世紀には浦田山古墳群の発見から、朝鮮半島を含む広い地域との文化的交流があったと考えられています。戦国時代には、本庄氏、色部氏等の支配の影響を受け、江戸時代に入るとめまぐるしく支配者が替わりました。

その後、明治4年の廃藩置県、明治22年の市町村制施行後、昭和30年前後に合併が進められ、平成20年4月1日に村上市、荒川町、神林村、朝日村および山北町の1市2町2村の新設合併により誕生した市です。

村上市の木、花、鳥

市では、村上市慣行審議委員会から提案された「市の木・花・鳥(案)」を尊重し、平成23年1月20日開催の村上市議会第1回臨時会に提案し、全会一致での可決を経て、市の木・花・鳥を制定しました。



市の木 「ブナ」

市内各地の高海拔地に広く分布しています。水を貯める水源かん養機能が高く、表土を安定させ自然災害を防ぎ、自然環境を保全する大きな役割を果たしています。



市の花 「ハマナス」

海岸一帯に群生し、自然環境が保護されている条件下で育っている花で訪れる人の心を和ませてください。



市の鳥 「クマタカ」

大型のタカで、成鳥では各部の横斑、縦斑が黒っぽい色をしており、幼鳥では斑紋が不鮮明で全体に白っぽく見えます。市内では、人里近い広葉樹林でも見られます。